

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年7月13日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾 病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	24 週	25 週	26 週	27 週	警報レベル	注意報レベル	基準値
	6月12日 ~ 6月18日	6月19日 ~ 6月25日	6月26日 ~ 7月2日	7月3日 ~ 7月9日	開始基準値	収束基準値	
水痘	0	0	0	0	2	1	1
流行性耳下腺炎	1	1	0	0	6	2	3
感染性胃腸炎	12	7	6	4	20	12	-
手足口病	14	27	19	14	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	3	21	13	6	2	-
インフルエンザ#	0	1	0	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	33	11	22	19	-	-	-
咽頭結膜熱	3	0	3	0	3	1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	0	8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
RSウイルス感染症	0	1	0	0	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	◎	○	-
備考	ヘルパンギーナ、手足口病	新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所から

【全数報告疾病】

2類:結核 女性1名

※全数報告疾病…すべての医師から届け出が必要な疾病

【定点把握対象疾患】

- ・新型コロナウイルス感染症は前週より1.00名減少し6.33名です。
- ・感染性胃腸炎は前週より1.00名減少し2.00名です。
- ・手足口病は前週より2.50名減少し7.00名となりましたが、「警報レベル」継続中です。
- ・ヘルパンギーナは前週より4.00名減少し6.50名となりましたが、「警報レベル」継続中です。

【集団発生情報】

保育施設においてヘルパンギーナの集団発生が3件、手足口病の集団発生が1件、高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生が1件発生しています。手洗い、換気、環境消毒、PPE着用、必要物品の補充等により、感染予防、拡大防止に努めましょう。

【感染症コラム ～腸管出血性大腸菌感染症～】

- ・ベロ毒素を産生する大腸菌の一種で、下痢、腹痛、嘔吐、発熱等の症状を引き起こすことがあります。
- ・人から人、食材・食品(生肉)を介して感染し、食中毒の原因となることもあります。
- ・感染すると、溶血性尿毒症候群(HUS)と呼ばれる合併症を引き起こすことがあります。HUSは、貧血、血小板減少症、腎不全などの症状を引き起こすことがあります。
- ・治療は対症療法で、適切な水分補給や栄養補給です。
- ・腸管出血性大腸菌は加熱や消毒により死滅するので、生肉を使った肉料理を避けること、肉の中心部まで十分に加熱して予防しましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>